2021年（令和3年）1月25日（月曜日）
（NO13199）赤口（旧暦12月13日）
夕刊矢祭
夕刊矢祭新聞社 日刊（土曜・日曜・祝祭日休刊）購読料月額1,000円
矢祭町東舘字桃木町42-2 発行人 菊池正典 ☎0247-46-3508 FAX46-3185

高信一則氏らに感謝状
（五十周年以降役職員）
町商工会設立60周年式典

コロナ禍等厳しい地域経済乗り越え
原点に立ち組織・活動の充実を図る

矢祭町商工会（藤田清会長・会員203人）の設立60周年記念式典は、22日午後5時30分からユーパル矢祭2階ホールにおいて開いた。

矢祭町商工会は、昭和35年9月「商工会の組織に関する法律」の施行に伴い設立され、今年度60周年を迎えた。

式典には役職員、元役職員、来賓ら35人が出席し、佐川泉副会長のことばで開式、藤田会長が「60周年を迎えることができたのは関係機関・地域各団体の理解、会員各位の協力の賜。中小・小規模事業者の経営状況は新型コロナウイルス感染症・拡大の影響や大型店・量販店の出店、過疎・少子高齢化による消費動向の変化により経営内容は圧迫され、後継者不足等で大変厳しい状況にあり、商工業者にとっては正念場を迎えている。

このような状況下、60周年という記念すべき年にあたり、商工会立法時の精神・原点に立ち返り、地域社会に貢献する商工会の果たすべき役割を再認識し、組織の強化・活動の充実を図り、地域活性化並びに振興発展に一層努力する所存です」と式辞を述べた。

商工会長感謝状贈呈は、高信一則前会長ら、50周年記念式典以降平成23年度からの役員12人、青年部、女性部歴代部長9人、退職事務局長1人に贈呈し、高信前会長が受賞者代表謝辞を述べた。

来賓の佐川正一郎町長（大串肇副町長代読）、宮川政夫県議会議員、藤田玄夫町議会議長の祝辞、来賓紹介が行なわれ増子幸三郎副会長のことばで閉式した。

感謝状贈呈者は次の通り。

▼商工業振興功労者（役員として10年以上）＝高信一則、金川利夫、谷田部一巳、藤田良一、熊田守宏、藤田清、佐川泉、増子幸三郎、篠田光広、藤井健一郎、飯村清司、増子伸義。

▼青年部・女性部功労者（歴代部長）＝宗田浩一、松本伸一、星昌綱、押田洋平、藤田春恵、鈴木ひろ子、石川陽子、松本幸子、本田治子。

▼退職事務局長＝鈴木邦美。

町社会福祉協心配ごと相談所29日に開設

町社会福祉協議会の心配ごと相談所は、29日午後1時30分から3時30分まで町保健福祉センター（旧石井小学校）に開設する。

先着順10人まで、要予約。

詳しい問い合わせは町社会福祉協議会まで（TEL34・1050）

御会葬御礼

亡母 川﨑やす儀

葬儀に際しましては御多忙中にもかかわらず遠路態々御会葬下さり且つ御鄭重なる御神饌料を賜りご厚志の程誠に有難く厚く御礼申し上げます
早速拝趨のうえご挨拶申し上げるべき処略儀ながら紙上を以て御礼申し上げます

令和三年一月二十四日

茨城県久慈郡大子町池田六四五番地九
祭主 川﨑芳正
外親戚一同

ＪＡ組合員のみなさんへ
ＪＡ斎苑㈱やすらぎの杜
＊斎場選びは信頼と安心、管内一の葬儀取扱い実績があるＪＡ葬祭
＊ご連絡いただければ訪問し、事前相談・お見積りをご提示致します。
駐車場120台駐車可能
24時間受け付けをしております
TEL0247−33−1059
病院〜自宅へ搬送
病院〜斎場へ直接搬送も出来ます
家族葬・一般葬・社葬・お通夜会場・法要会場・法事会食会場
ＪＡ斎苑㈱やすらぎの杜
棚倉町大字塚原字上野越（118号バイパス沿い）

ダイハツ タフト（TAFT）
2019年7月登録車 フォレストカーキメタリック
（ナビ＋アラウンドビュウーモニター＋前方ドライブレコーダー＋メッキパック＋フロアマット＋ドアバイザー付き）
色々付いてて160万円
カナリお得です!!
未使用車

㈲矢祭自工
矢祭町小田川 ☎46−3188（代）

ブリヂストンタイヤ特約店・三井住友海上火災保険代理店
ENEOS
ENEOS矢祭町給油所
ENEOSプロパン藤井商店
給油所☎46−2124・2229
本店☎46−3118（代）

「モラル・エッセイ」コンテスト
青砥安彦さん作品優秀賞
「私のこころの支え」と題し随筆

福島県教育委員会主催令和2年度「モラル・エッセイ」コンテストで、矢祭町中石井の青砥安彦さんの「私のこころの支え」が一般の部優秀賞を受賞した。表彰式は行われなかったため、町教育委員会が1月5日付の表彰状と記念の盾を伝達し、片野宗和教育長とともに佐川正一郎町長に受賞を報告・披露した。（写真）

青砥さんの優秀作品全文は次の通り。

「私のこころの支え」

私には三つの財産がある。一つは家族。わが家は妻と三人の子ども、父母の七人家族である。婚歴も三十年も過ぎれば世間並みの親父となり、妻も慎ましさが剥がれる。子どもは無事成人し、それぞれの道を進んでいる。父母は高齢ながら元気でいる。思い出も多い。

菜づくりに励んでいれば誰もが経験するもんだ。

あるう反抗期の親子バトル。

時代、何度もぶつかった。

時に切れる横目にも。

父母はそれを守り、

私が上手に言い聞かせたように、

孫にも祖父母の教えを素直に聞き入れる姿は見られなくなった。

年季の入った反抗する時代にはありがたさをつくづくと知った。

同居暮らしの躾は、

二つ目は命。私は過去に白血病に倒れ、命を失いかけた経験がある。病名を告知された瞬間、短い人生にただ悔やんだ。ところが、幸運にも骨髄バンクで骨髄移植を受けることができ、命を取り戻すことが切に願ったのだ。それを失わないものは親から授かった大お陰である。

三つめは仲間。私は学生時代からスキー場へ憧れていた。スキー場へ向かうとすぐ社会人にとって恐ろしい怖さにゲレンデとスキーに震えと憧れは消えた。スキーに長けたのを払拭し、技術にかけた先輩。スキーにのめり込み、以来、毎シーズンクラブ仲間で滑走を楽しんでいる。

福島国体冬季大会でスキー競技役員としてはじめて審判に携わった。

箇所。貴重な人生経験の恩返しに骨髄バンク活動に努力している。

現在、私は命の活動はしている。

バンクの仲間は一人でも多くの患者を救いたいと思いたい。

あるこれは何ちがいい人生はいろいろ様々であるこれ。

カネも大事かもしれ以上になる。

家族、私は命、それ仲間を守りかを大事にわし、心れたい。豊かに命人生を過ごしていきたい。

▼町グラウンド・ゴルフ協会定期総会は、28日午前10時から町保健福祉センターで開く。

あす文化財防火デー
茗荷地区文化財を防火査察

1月26日は「文化財防火デー」1949年（昭和24年）1月26日早朝、現存する最古の木造建築・奈良の法隆寺金堂が火事に。7～8世紀に描かれた壁画が焼失し、社会に大きな衝撃を与えた。

災害から文化財を守ろうという機運が高まり、翌50年に文化財保護法が制定された。55年から、この日を文化財防火デーと定め、全国で文化財を守る運動や防火訓練が行われている。

町教育委員会、文化財保護審議会、消防機関・団体などによる町内文化財防火査察は、あす茗荷地区の文化財4箇所を巡回する。

▼体育施設調整会議は、29日午後6時から町中央公民館で開く。

死亡通知

父 下重 孝男 儀

病気療養中の処薬石の効なく一月二十四日午前九時五分永眠致しました（九十二歳）ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

追って通夜式・告別式は左記の通り仏式にて執り行います

一、通夜式　一月二十七日（水）午後五時より　場所　大国屋ファミリーホール

一、告別式　一月二十八日（木）正午より　場所　大国屋塙斎場

令和三年一月二十五日

塙町大字上渋井字寄居一三〇番地

喪主　下重 江津子

妻　下重 サツキ

外　兄弟親戚一同

※花環の儀はご辞退申し上げます

キッチン　お風呂　トイレ　リフォーム

今こそ
手をとりあって
乗り越えよう！

㈱押田製材所
矢祭町東館字桃木町15
☎0247-46-3138

死亡通知

父 菊池 洋吉 儀

一月二十三日午後十時　永眠致しました（七十歳）ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

追って通夜式・告別式は左記の通り仏式にて執り行います

一、通夜式　一月二十八日（木）午後五時より　場所　大国屋塙斎場

一、告別式　一月二十九日（金）正午より　場所　大国屋塙斎場

令和三年一月二十五日

矢祭町大字戸塚字山崎三五番地

喪主　菊池 隆志

小室 貴史

菊池 弘志（有記）

外　親戚一同

吉野屋金物店

～家族の空間～

大国屋ファミリーホール

開場致しました

終焉の時は家族で送りたい
そんな想いをカタチに…

ご遺体の安置　お通夜　告別式　法要等
すべてが可能です

家族葬　¥250000－（会員価格）

会館見学　資料請求　随時承ります

葬祭の 株式会社 大国屋

TEL0247-43-0122(代)